

はさみガイドマップ

Hasami Guide Map

波佐見町観光協会

〒859-3711 波佐見町井石郷2255-2
Tel.0956-85-2290 Fax.0956-85-2856

長崎県 波佐見町役場

Tel.0956-85-2111 Fax.0956-85-5581

【旅館】 泉 荘 Tel.0956-85-2681

長生苑 Tel.0956-85-2216

和島屋 Tel.0956-85-3009

【民宿】 水ぐるま Tel.0956-85-5151

【タクシー】 相互交通 Tel.0956-85-6161

マユミ Tel.0956-85-4444



■長崎県自動車道・西九州自動車道ご利用の場合
波佐見・有田ICから車で5分
嬉野ICから車で15分

■JRご利用の場合
JR三河内駅からバスで15分
JR川棚駅からバスで20分



やきものの郷 波佐見町

波佐見焼の歴史

慶長4年、波佐見町村木の畑ノ原、古皿屋、山似田の3か所に連房式階段状 登窯を築き、やきものづくりを始めました。これが波佐見焼の始まりと言われています。今から約400年前のことでした。

波佐見焼といえば、染付と青磁が中心ですが、初めは施釉陶器を生産 していました。その後、村内で磁器の原料が発見され、しだいに染付と青磁を中心とする磁器へ移行。ついには大村藩の特産品となり、江戸後期には染付の生産量が日本一に。こうして波佐見焼は、染付・青磁ともに大生産地に発展してきたのです。

皿山役所を設置し、磁器の生産に力を入れる大村藩。製造されるほとんどは日常食器で、唐草模様を筆で簡単に描いた「くらわんか碗」と呼ばれた丈夫で壊れにくい、厚手で素朴な製品は波佐見焼の代表になりました。この波佐見焼の食器づくりは、庶民の食文化を大きく変え、生活を豊かに彩り、私たちの暮らしになくてはならない身近なものになっていったのです。

巨大な連房式登窯で生産をし、手頃な価格で全国へ、また、海外へと販路を広げていった波佐見焼。その歴史の数々は、町のあちらこちらに残された登窯跡が物語っています。

そして、常に新しい技術に取り組みながら、良質の日常食器をつくり続ける土と炎の伝統は、今も確実に息づいているのです。

「くらわんか」とは？

簡単な染付模様を描いた器・くらわんか碗は、波佐見焼の歴史を知るうえでも欠かせないもののひとつです。この名前は、江戸時代、摂津の淀川沿いの船に、小舟で近づき「餅くらわんか、酒くらわんか」と言って売った商人その言葉から名づけられました。

土の風の少し粗い素地と簡素な絵柄で、手頃な金額で売られたくらわんか碗は、たくさんの庶民の人気を得ました。磁器碗は高級なもの、庶民には手が届かない、という当時の常識を大きく変え、日本の食文化の発展に大きな影響を与えました。そして、手軽で良質な暮らしの食器を供給するという波佐見焼の姿勢は、400年たった現在を変わることなく受け継がれています。



波佐見のスポット

陶郷 中尾山

波佐見の中でも多くの窯元が残る「中尾山」は、いくつもの煙突が並ぶ街並みは、どこか懐かしさを与えてくれます。歴史を感じたい方にはおすすめのスポットです。お気に入りの器を見つけてください！



西の原

約1,500㎡の敷地に、昭和初期の建物を利用したお洒落なカフェやギャラリーが立ち並び、波佐見の新しい名所です。



カフェ
▲モンネ・ルギ・ムック



雑貨屋
HANAわくすい▶

鬼木の棚田

「日本の棚田100選」に選ばれた棚田です。毎年9月23日には「鬼木棚田まつり」も開催され、愉快なかかしたちが皆さんを待っています。



温泉&陶農レストラン

泉質/ナトリウム炭酸水素塩泉(重曹泉)
効能/神経痛・筋肉痛・50肩・慢性消化器病
冷え症・切り傷・火傷・皮膚病

ふっくら香ばしいかまど御飯、自然の恵みいっぱい旬の野菜、のどかな田園風景を眺めながらゆったりとしたひと時を…。毎日作りたてのこだわりスイーツもおすすめです。



▲波佐見温泉
せしゅんのさと
陶農レストラン「清旬の郷」▶

波佐見のイベント

- 1月 昭和おもしろ遊び塾
1月上旬[やきもの公園]
- 3月 くらわんか祭り
3月第1日曜日[やきもの公園]
- 4月 中尾山「桜陶祭」
毎年4月第1土日[陶郷中尾山一帯]
- さくら祭り
4月の第2日曜日[桜つつみ河川公園]
- 波佐見陶器まつり
4月29日～5月5日[やきもの公園一帯]
- 8月 はさみ夏まつり
8月下旬[はさみ温泉周辺]
- 9月 鬼木棚田まつり
9月23日[鬼木郷棚田周辺]
- 10月 峡の里豊穰太鼓祭
10月上旬[田ノ頭郷の河川公園]
- 中尾山秋陶めぐり
10月下旬[中尾山一帯]
- 11月 はさみ炎まつり
11月第1日曜日[やきもの公園一帯]
- 12月 皿山器替まつり
12月第1土日[皿山郷一帯]

史跡・文化財

畑ノ原窯跡

(国史跡)

場所: 村木郷
お問合せ: 波佐見町教育委員会
TEL: 0956-85-2034

波佐見町ではじめて磁器を生産されたといわれる窯跡です。



智恵治窯跡

(県史跡)

場所: 永尾郷
お問合せ: 波佐見町教育委員会
TEL: 0956-85-2034

明治期に操業を開始。昭和10年に改修し、昭和27年まで使用していた窯です。



大新登窯跡

(県無形民俗文化財)

場所: 中尾郷
お問合せ: 波佐見町教育委員会
TEL: 0956-85-2034

世界最大規模の登り窯で、全長約170mもあります。



皿山人形浄瑠璃

(県無形民俗文化財)

場所: 皿山郷
お問合せ: 波佐見町教育委員会
TEL: 0956-85-2034

「享保の飢饉」で焼物が売れずに、浄瑠璃興行をして、飢えをしのいだのがはじまりと言われています。



奉納公開 8月21日

浮立

(町無形民俗文化財)

お問合せ: 波佐見町教育委員会
TEL: 0956-85-2034

江戸時代からの伝統を持つ4つの浮立。

- 協和浮立 7月18日
- 鬼木浮立 8月16日
- 野々川浮立 8月16日
- 山中浮立 9月23日頃



波佐見のおみやげ

六十餘洲

230年の歴史を有する酒蔵「今里酒造」で造られる銘酒です。



鬼木加工品

清流米、国産麦、地元大豆を原料に手作り製法でじっくり熟成された「鬼木合わせ味噌」、「清流漬」、その他「梅干」、「かりんとう」、「ポン菓子」など様々な食品がごさいます。

波佐見茶

渋みが少なくまろやかな玉露茶です。



花のみごころ

しだれ梅

場所: 岳辺田郷
見頃: 2月末頃

しだれ桜

場所: 田の頭郷
見頃: 3月中旬～下旬

大つつじ

場所: 田の頭郷
見頃: 5月初旬頃

コスモス

場所: 金屋郷
見頃: 9月末頃～